

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称	
1001	1001	遠距離バス使用事業	01	01	一般会計	
			10	10	教育費	
基本施策	31	個性を伸ばし、夢を追い求められる教育を進める	03	03	中学校費	
			01	01	学校管理費	
担当部課名	教育部 学校教育課		101	101	学校管理経費	
作成者氏名	加納圭子	連絡先	22-9676	細々目	04	遠距離通学バス使用料

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)				
	桃青中学校(諏訪地区)の生徒及びその保護者	通学の安全が保障され、通学費を補助することで保護者の負担が軽減されます。				
本年度事業内容	1. 通学のための乗合バス使用料の補助					
開始年度	平成	年度	終了年度	平成	年度	根拠法令・要綱等

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	0.08	0.1	0.1
人件費合計(A)	576	720	720
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	2,052	2,700	2,700
委託料			
使用料及び賃借料	2,052	2,700	2,700
その他			
合計(A+B)	2,628	3,420	3,420
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金			
地方債			
受益者負担			
その他特財			
一般財源	2,628	3,420	3,420
上記①～③に関する特記事項			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
乗合バス通学定期補助実施校数	校	1	1	1	1	1	1
対象者数	人	19	23	23			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
通学に乗合バスを利用する生徒に対する通学費補助実施率	中学校において、通学距離が5km以上あるにもかかわらず、スクールバスが導入されていない地区においては、保護者の負担等を考慮して通学費の補助が必要です。そのため、その実現率を指標としました。	%	100 目標 (100)	100	100
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

桃青中学校に通学している諏訪地区については、スクールバスを導入していません。そのため、通学は、市内を運行している乗合バスを活用しています。通学定期を購入していますが、高額になるため、保護者の方々の負担軽減になります。今後は、校区の再編により、諏訪地区については、スクールバスの導入を検討しています。

評価	必要性	4	これまでもスクールバスの導入が検討されてきましたが、実現に至っていません。校区の再編が実施されるまでは、通学費の補助を継続する必要があります。	総合評価 A
	有効性	4		
	達成度	3		
	効率性	4		